

## 公立鳥取環境大学学生 EMS 委員会の取り組み

公立鳥取環境大学学生 EMS 委員会 ましもしょうた  
2023 年度委員長 真下 翔太

### 公立鳥取環境大学学生 EMS 委員会について

公立鳥取環境大学学生 EMS 委員会（略して TUES 学生 EMS 委員会）は本大学が 2003 年 2 月 26 日に国際規格である ISO 14001 を導入したのに際して学生 ISO 委員会として編成されました。ISO 14001 を取得してから 15 年を経て、学生 EMS 委員会に名称を変更して現在に至ります。2022 年に本大学が ISO 14001：2015 の自己適合宣言を行い、大学の環境方針に沿って活動を行なっています。

現在、67 名（2023 年 12 月現在）が在籍しており、学内外で省資源・省エネ・環境教育・清掃活動などを行なっています。その他に、委員が主体的に取り組むプロジェクト活動を積極的に行なっています。

### 清掃活動の実施

私たち学生 EMS 委員会は 1 年を通して、6 回ほど学内外で清掃活動を実施しています。

学内清掃は、4 月、7 月、10 月の 3 回実施しています。今年の 10 月に実施された学内清掃では、参加した学生をいくつかのグループに分け、ゲーム形式でごみを拾った量を競うという新しい取り組みも行いました。

学外清掃は 5 月、10 月、11 月に行なっています。5 月には、白兔海岸という海

岸にて清掃活動を行っています。10 月には、JUMP～日本列島を軽くしよう～という清掃活動を実施しました。JUMP とは、全国の大学が同じ時刻に清掃を行い、12 時ちょうどになると一斉に JUMP して、日本列島を軽くする活動です（写真 1）。私たちは、鳥取砂丘を侵食している外来植物の除草活動を行いました。

11 月には、日本一大きな池である「湖山池」の中にある青島で清掃活動を実施しています。

### プロジェクト活動の実施

私たちの委員会では、委員の興味関心に応じてプロジェクト活動を行なっています。現在、サステナブルキャンパスプロジェクト（以下、サスキャン PJ）、CFB プロジェクト（PJ）、畑プロジェクト（PJ）、清掃プロジェクト（PJ）、ISO レクチャープロジェクト（PJ）の 5 つのプロジェクトが活動しています。

サスキャン PJ では、持続可能な社会構築に貢献するキャンパスの実現を目指していくことを目的としてマイボトル運動などを行なっています。

CFB PJ では、日本財団の推進する「海と日本 PROJECT」のもと、「目指せ！海ごみゼロ！」をスローガンとして活動しています。活動内容としては、GPS を用いた模擬ごみの挙動調査、小学校での出前授業、海岸清掃などを行なっています（写真 2）。



写真 1 JUMP の様子

畑 PJ は、大学敷地内の一区画を借りて、一から畑を作るという活動を行なっています。トマトやなすび等の夏野菜の収穫を行いました。

清掃 PJ では、年に 3 回の鳥取砂丘除草活動（JUMP を含む）を行います。また、大学内の洗濯室清掃なども行なっています。

ISO レクチャー PJ では、学生に対して実施される ISO レクチャーに向けて、スライドを作成したり、委員対象とした内部勉強会などを行なったりしています。



写真 2 CFB PJ 模擬ごみの挙動調査

### 脱炭素に向けた取り組み

私たちの委員会では、脱炭素に向けてさまざまな取り組みを実施、計画しています。

学校祭では、模擬店の容器を可食性や紙製の容器に変更したり、ごみ分別を促すようなごみ箱の作成を行いました（写真 3）。

また、TUES Sustainability Week という取り組みを計画しています。この取り組みでは、持続可能性・脱炭素について考える 1 週間として 12 月 18 日～22 日に開催しました。学生主導で、Talks やパネル展示、古着古本市などを実施しました。



写真 3 学祭で制作したごみ箱

次のバトンタッチ先は ▶ 島根大学学生 EMS 委員会